

SOL-0001-2104

CS揮発油

精密機械洗浄用溶剤

CS揮発油は高い洗浄性能を保持したまま、安全性・作業環境および作業効率に配慮し、ほとんど芳香族分を含まない成分で構成された揮発油です。洗浄を始めとし、各種の溶解用途において高い溶解力を発揮します。

●特長

1. 人体への安全性に配慮し低芳香族化を実現

人体に害を与える恐れがあるとされているベンゼン分を始めとした芳香族分を低減し、労働安全衛生法の有機溶剤中毒予防規則において、揮発油類では最も規制が軽度な第3種有機溶剤に対応しています。

2. ナフテン系炭化水素を主成分としており、高い溶解性を有する

ナフテン系炭化水素を主成分としているため芳香族成分がほとんど含まれないにも関わらず、同程度の蒸留性状を有する商品に比べて、溶解性に優れています。また、各種機械類の洗浄にも能力を発揮します。

3. JIS工業用ガソリン2号に相当

JIS工業用ガソリン（JIS K2201）の2号に該当し、ゴム・塗料用途に定義されています。

●用途

各種機械類の洗浄用、塗料用、ゴム溶解用

●荷姿

ローリー、200lドラム、18l缶

●CS揮発油の代表性状

	代表値	規格値
密度(15℃) g/cm ³	0.743	報告
蒸留性状 ℃		
初留点	86	80~90
10%留出温度	89	報告
50%留出温度	92	120以下
90%留出温度	100	報告
終点	119	150以下
アニリン点 ℃	49	50以下
銅板腐食(50℃, 3h)	1	1以下
成分 mass%		
ベンゼン	0.1未満	0.1未満
トルエン	0.1	1.0未満
キシレン	0.2	1.0未満
C9以上芳香族	0.1未満	1.0未満
n-ヘキサン	2.2	報告
消防法危険物分類	第1石油類	

※代表性状値は、商品の改定等により予告せずに変更場合があります。
(2013年2月)



取扱上の注意

▼取扱いについては下記の注意事項に従って行って下さい。

成分：	石油系炭化水素
絵表示：	
注意喚起語：	危険
危険有害性情報：	引火性の高い液体及び蒸気 皮膚刺激 眼刺激 発がんのおそれの疑い 臓器(肺, 腎臓)の障害 呼吸器への刺激のおそれ 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(神経)の障害 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(血管)の障害のおそれ 水生生物に有害 長期継続的影響によって水生生物に有害
注意書き： 安全対策	<ul style="list-style-type: none">・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。・眼に入れないこと。飲み込まないこと。・熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。・防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。・環境への放出を避けること。・容器を接地すること/アースをとること。・火花を発生させない工具を使用すること。・静電気放電に対する予防措置を講ずること。・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。・容器を密閉しておくこと。・取り扱い後はよく手を洗うこと。・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
応急措置	<ul style="list-style-type: none">・皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。・気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。・皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。・汚染された衣類を脱ぐこと。・皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。・眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。・火災の場合：消火するために有効な消化剤を使用すること。
保管	<ul style="list-style-type: none">・直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。・一度栓を開けた容器は必ず密栓しておくこと。・施錠して保管すること
廃棄	<ul style="list-style-type: none">・内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。・不明な場合は購入先にご相談の上処理すること。